

平成27年度 事務職員のための

E-ラボ(後期)のご案内



後期の「事務職員のためのE-ラボ」では、本学に類似した大規模私立大学の改革動向を調査し、それを発表してもらうことで、**本学の現在とこれからについて少し外から客観的に見つめてみる**こと、また**学んだ知識を実際を使ってみる**ことを目的としたPBL型のプログラムを実施します。

前期では、大学の歴史、大学制度の現状、文科省の政策動向などについて、知識ベースの内容を扱ってきました。後期は、それらの知識を活用して、実際に幾つかの大学をさまざまな角度から「切って」みます。ただし、**切れ味を試すのは、私ではなく参加者の皆さん自身です**。本学と似た大規模私立大学を俎上に載せ、有志(発表希望者)の方に、事例調査と発表をしていただきます。そうしていただくことで、大学の切り方と見方、つまり、**分析的・多角的に大学を理解する技術**を磨いていただければと考えております。

第1回目は、教育開発支援機構事務課の安武 隆明さん、大浦 淑子さんのお二人に、「どんな内容の調査をして、どう発表すればよいのか」の実例として、それぞれ名城大学、早稲田大学の改革動向についてお話しいただきました。そしていよいよ、第2回目以降のプログラムでは、有志による発表を行います。果たして、あの大学、この大学の切り口からはいったいどんなものが見えるのでしょうか・・・。

発表者にとってはもちろん、オーディエンス(聴講者)としての参加者にとっても、本学の現在とこれからについて客観的に見つめる良い機会になるのではないかと考えております。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

コーディネーター：須長

プログラム日程

1回90分程度、全3回にわたり調査発表を行います。各プログラムは、有志による発表(各20分程度)と質疑応答・全体ディスカッションで構成されています。

全体ディスカッションでは、参加者全員が楽しく能動的に参加できるよう、タブレット端末をレスポンスアナライザー※として使用する予定です。

※ 学習者に答えや意見などを選択スイッチの操作によって回答してもらい、その集計結果を表示する装置

プログラム対象者

事務職員であればどなたでも参加できます。後期から初めての参加も歓迎いたします。

コーディネーター

- 須長 一幸 (教育開発支援機構 教育学修支援室 准教授)
- 橋場 論 (教育開発支援機構 教育FD支援室 講師)

申込方法

●参加申込フォームからの申し込み

こちら(<https://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp/form/elaboform.html>)[学内限定]へアクセスし、必要事項をご入力ください。

●メールでの申し込み


教育開発支援機構事務課の管理用アドレス(kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp)へ「所属・氏名・在職年数」を記入の上、お送りください。

※申込締切：**プログラム開催日の前日**

お問い合わせ先

教育開発支援機構事務課 (A棟地下1階)
担当：宮田 (内線：2852)
E-mail：kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp

日時	場所	調査大学名
②2月18日(木) 18:00~	A810	・明治大学 ・東洋大学
③2月25日(木) 18:00~	A810	・松山大学 ・立教大学 ・立命館大学 等
④3月3日(木) 18:00~	A810	・神戸学院大学 ・玉川大学

 **第2回目以降は、
協働学修教室B(A810)
を使用いたします!**

協働学修教室Bは、昨年秋にオープンしたばかりの、さまざまな情報通信技術(ICT)を活用した少人数でのグループディスカッションが行える教室です。



**皆さまの積極的なご参加を
お待ちしております!**